

各 位

平成28年 8月16日

会 社 名 株式会社エム・エイチ・グループ
本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目11-1
代 表 者 代表取締役社長 佐藤 文彦
(コード番号) (9439 JASDAQ)
問い合わせ先 取 締 役 小林 繁之
(TEL) (03-5411-7222)

特別損失の発生及び連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、特別損失の発生及び最近の動向を踏まえ、平成27年8月12日に公表した平成28年6月期（平成27年7月1日～平成28年6月30日）の通期連結業績予想と比較して、本日公表の実績値において下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生並びにその内容

(1) 役員退職功労金

平成27年9月に退任いたしました前の取締役会長であり、当社の創業者でもある青山洋一氏に対しまして、その創業以来の功績に報いるため平成28年3月に功労金を支給いたしました。これにより平成28年6月期第3四半期会計期間において、役員退職功労金125百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 関係会社株式評価損

平成28年6月期第3四半期会計期間におきまして、当社の関係会社である台湾摩法股份有限公司の1株当たり純資産価額が簿価の凡そ50%まで減少し、回復の見込みがないと判断されたことから有価証券の減損に係る会計基準に従い簿価を50%切り下げました。これにより関係会社株式評価損6百万円を平成28年6月期第3四半期会計期間において特別損失として計上いたしました。

(3) 減損損失

平成28年6月期第4四半期におきまして、定期借家契約の満了により、平成29年3月にモッズ・ヘア上大岡店（直営サロン）を移転しなければならない可能性が発生したため、減損損失3百万円を平成28年6月期第4四半期会計期間において特別損失として計上いたしました。

2. 連結業績予想値と実績値との差異について

平成28年6月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成27年7月1日～平成28年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当り 当期純利益
予想値 (A)	1,800	80	80	80	7.06円
実績値 (B)	1,742	17	17	3	0.34円
増減額 (B-A)	△57	△62	△62	△76	
増減率	△3.2%	△78.1%	△77.9%	△95.2%	
(ご参考) 前期実績 (平成27年6月期)	1,716	78	84	37	3.38円

差異が生じた理由

売上高につきましては、新規に出店した2店舗及びBSサロンから直営サロンへ転換した2店舗の合計4店舗の売上高が当初の想定を大幅に下回り、予想に対し57百万円減収（△3.2%）となりました。これは、主に地方店舗において必要なスタッフ数を確保できなかったこと、顧客獲得競争が激化する中で、特に競争の激しい首都圏店舗においてプロモーションの効果が限定的であったこと、及び競争力のあるスタイリストの育成に時間がかかったことなどが影響いたしました。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少に加えて、前述の新規出店2店舗及びBSサロンから直営サロンへの転換サロン2店舗の合計4店舗の営業利益の合計が△36百万円の営業損失となり、大きな負担となりました。これは、サロン運営におけるコストはそのほとんどが固定費であり、想定した売上高を確保できなかった場合、人件費、家賃等の固定費が大きな負担となり収益を圧迫することが原因であります。それに加え、開店に際して必要なスタッフ数を確保できなかった地方店舗へ本部から応援のスタッフを派遣したことに伴う経費の増加、及び新規顧客獲得のための広告費の増加などが影響いたしました。更に、同BSサロンから直営サロンへの転換サロン2店舗の旧オーナーに対する債権の貸倒引当金が16百万円発生しました。その結果、営業利益は、予想に対して62百万円減益（△78.1%）、経常利益は、予想に対して62百万円減益（△77.9%）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述いたしました営業利益及び経常利益の減少に加え、当期中において特別利益が151百万円、及び特別損失が135百万円発生したことや、本日付決算短信において開示する平成29年6月期の利益予想が、平成27年8月12日付決算短信において開示した平成28年6月期の利益予想と比較して大幅に減少したため、課税所得の見積もり額が減少し、法人税等調整額が20百万円発生したことなどが大きく影響いたしました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、76百万円減益（△95.2%）となりました。

以 上